



看護部長便り ~A letter from Ozawatti~



皆さん、お疲れ様です。今年は梅雨が短く、早々に暑さがやってきました。全国で記録的猛暑が更新され、そのニュースを聞くだけでも暑さが上乗せされるようです。そんな中でも、日々入浴介助、おむつ交換等々、頑張ってくれている皆さんに心から感謝いたします。くれぐれも体調管理には気を付けてくださいネ。

さて、看護部の教育研修内容が今年度リニューアルしています。特に実践能力向上に重点を置き、知識を深めるための内容が多く企画されています。院長が講師を務める「脳」の講義がすでに終了しましたが、この後も医師による講義が予定されています。また、毎月テーマを決めたテストも皆さん実施されていると思います（介護職の方はこれからです）。これまでと同じテーマもありますが、新たな内容もたくさん入っていますので、楽しんで受けていただきたいと思います。

看護部長 小澤

紹介します



当院で7人目の
特定行為研修を
受講する（受講
中）関真弓さん。

各研修のご紹介① 入職時研修



~新人研修



~技術演習



今年度、看護部では看護師15名、介護福祉士4名、MA1名の新入職員を迎えることができました。コロナ禍で学生時代を過ごし、実習があまりできなかったみなさまですが、研修では元気いっぱいに学んでいる様子に頼もしさを感じています。N95マスクをつけての研修スタートとなりましたが、4月中に全7回の入職時研修を終えて、新人研修や技術演習へと歩みを進めています。

たとえば、5月下旬の看護技術演習では、「採血/経管栄養」を実施しました。採血では、緊張して臨みましたが、無事終了後は凛々しい表情になっていて、嬉しく思いました。



年度のご注目！その1 『介護職員3か年研修』

今年度より、新たな試みとして「介護職員3か年研修」を開始いたしました。“3年後に介護福祉士取得しよう”という共通の目標のもとに高校新卒者の皆さん（卒後1年目、2年目、3年目）と一緒にスタートを切っています。3年後といっても実務経験を積みながら勉強もしていくことは容易ではありません！国家試験を受験するまでには様々な準備があり、そういった“準備”が計画的にいかずに断念される方も多いのが現状です。

この「介護職員3か年研修」では、学びだけでなく、介護福祉士取得までの様々な“準備”もお手伝いしていきながら、安心して働きながら学べる環境を整えています！これからの介護福祉士養成の新たな一歩として見守っていただけるとありがたいです。病棟でも対象の職員さんへのサポートを引き続きよろしく願いいたします。

看護部 介護人事採用担当 鈴木 大輔



◆キャリアパスポート（ポートフォリオ）



今年度のご注目！その2 『医師による講義～鈴木院長「脳の話と脳の病気」』

保有 I 看護師を対象に病態生理「脳の話と脳の病気」をテーマに鈴木院長から講義をして頂きました。CT画像や神経所見を動画で確認することで現場の患者さんと結びつけて考えることができたのではないのでしょうか。脳の活性化には「褒める」ことが良いとのことでお互いに褒め合いました。自然と笑みがこぼれ、嬉しい感情ができました。

新たなクリニカルラーが今年度からスタートし実践能力に力を入れようと考え、院長をはじめ、6名の医師をお迎えして病態生理の研修を企画しています。対象者は保有 I と I (h) ですが、せっかくの機会ですので対象ユーザー以外にも参加を募っております。ご興味がありましたら、ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。



教育専従の介護係長です

今年度より看護部教育専従となった足立原 崇です。今年度は主に新入職員の研修、メディカルアシスタントの研修を担当しています。新入職員は入職から約3か月経過しました。まだ、緊張している様子はありませんが、研修を通して皆さんの成長を感じています。これからも、研修での学びを現場で活かせるよう全力でサポートしていきたいと思っております。



皆様をサポートいたします

- 2022度の教育専従は、加藤久美子、足立原崇、栗田智美で、おとどけします。今年度は、実践能力向上に重点を置いた研修が多く企画され、トータル
- の研修数は昨年より増えています。研修に参加された際には、ぜひ、臨床現場
- で活用できるものを持ち帰ってくださると嬉しいです。
- すっかり眼鏡が手放せなくなった今日この頃ですが、少しでもより質の高い研修を実施できるように、目を見開いて👁👁がんばります。

